

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

養老町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県養老郡養老町

3 地域再生計画の区域

岐阜県養老郡養老町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口も 1995 年の 33,694 人をピークに減少しており、29,029 人（2015 年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。住民基本台帳では 2020 年で 28,021 人となっており、国立社会保障・人口問題研究所によると、2030 年には 2015 年比で総人口が約 76%（22,188 人）となる見込みである。

年齢 3 区分別人口では、年少人口は 1985 年以降減少傾向にあり、生産年齢人口は 1995 年をピークに減少しています。一方、老年人口は増加し続けている。1985 年から 2015 年の間で年少人口は 23.6%から 12.5%、生産年齢人口は 64.8%から 58.6%に減少し、老年人口 11.6%から 28.9%に増加している。

自然動態については、1985 年から 2018 年までの推移をみると、出生数は減少傾向にあり、2005 年以降は死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いている。2018 年では死亡数が 358 人、出生数が 124 人で、自然減は 234 人となっている。合計特殊出生率については、2.07 が人口維持の目安となっているが、全国や岐阜県と比較して概ね低い水準で推移しており、2017 年では 1.06 となっている。

社会動態については、1986 年から 2018 年までの転入・転出の推移をみると、転入超過と転出超過を 5 年周期で繰り返してきましたが、2001 年以降は転出超過の状態が続いており、毎年 100～200 人程度の人口が減少しています。2018 年では、転入者数 677 人、転出者数 869 人と、192 人の転出超過となっている。

このまま人口減少が加速すると、地域における担い手不足やそれに伴う地域産

業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退など、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。なお、これらに取り組むにあたって、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- 基本目標 1 魅力あふれる地域づくり
- 基本目標 2 未来を担う人づくり
- 基本目標 3 安心・安全な生活基盤づくり
- 基本目標 4 活力あふれる基盤づくり
- 基本目標 5 行政経営機能の強化

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	関係人口数	0人	1,400人	基本目標 1
	SDG s を推進する、又はSDG s に関心を有する団体数	1 団体	6 団体	
イ	生涯学習機会への参加申込者数	2,906人	3,130人	基本目標 2
	楽しく通学している子どもの割合※学校評価アンケートにより集計	88%	91%	
	人権・心配ごと相談件数 ※普及・啓発活動の推進	8 件	16件	

	により問題意識の向上を 目的とする			
	ワーク・ライフ・バランス 推進企業登録事業所数	37事業所	46事業所	
ウ	認知症サポーター養成講 座開催回数	10回	12回	基本目標 3
	健康診査の受診率	39.4%	62%	
	防災士の育成数	57人	95人	
	防災アプリのダウンロー ド件数	—	2,200件	
エ	RPA活用事例数	0 件	11件	基本目標 4
	空き家の有効活用数	1 件	11件	
	観光入込客数	1,074千人	1,245千人	
	特産ブランドの売上金額	139,886千 円	167,410千 円	
オ	ふるさと納税件数	31,491件	60,000件	基本目標 5
	「組織別行動計画」評価 における「B」以上評価率	—	75%	

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2 のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

養老町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 魅力あふれる地域づくり事業

- イ 未来を担う人づくり事業
- ウ 安心・安全な生活基盤づくり事業
- エ 活力あふれる基盤づくり
- オ 行政経営機能の強化事業

② 事業の内容

ア 魅力あふれる地域づくり事業

養老町の魅力を町外に発信して多くの人に知っていただくとともに、実際に養老町に触れ、関りを持ってもらう取組みを進め、関係人口の増加をめざし、地域づくりの担い手を育てるとともに、養老町の魅力を再発見しその資源を活かす取組みを継続できる、持続可能な実施体制の構築をするほか、地域の魅力を未来につないでいくために、循環型のまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・観光拠点施設整備事業
- ・特産ブランド認証・促進事業 等

イ 未来を担う人づくり事業

次代を担う子どもたちが、地域への誇りや愛着を持つことができ、豊かな心を育めるような質の高い教育を行い、学校におけるいじめや不登校、引きこもりの問題なども含めて、青少年の健全育成策に取り組むほか、全ての人の人権に対する正しい理解を促し、人権が尊重されるまちづくりを進める事業。

【具体的な事業】

- ・ふるさと学習推進事業
- ・女性活躍推進事業 等

ウ 安心・安全な生活基盤づくり事業

生活習慣病の予防、疾病の重症化予防、介護予防など、多様な健康づくりを進め、安心して生活できるまちづくりを進め、地域で安心して生活できる地域福祉施策を進めるとともに、子どもと子育て家庭、高齢者、障がい者・児に対する各種福祉施策を進めるほか、防犯・防災対策、交通安全対策などを充実し、安全で安心できるまちづくりを進める事業。

【具体的な事業】

- ・地域子育て支援センター事業
- ・高齢者福祉事業 等

エ 活力あふれる基盤づくり

交通網や情報基盤の充実を図り、快適な住環境を整備し、移住定住対策を推進するほか、地域の活力を高める多様な産業の振興を図る事業。

【具体的な事業】

- ・地域公共交通網形成計画推進事業
- ・食肉関連産業振興事業 等

オ 行政経営機能の強化事業

まちづくりビジョンを実行し、成果をあげていくため、持続可能な行財政運営を推進し、今後の社会環境の変化や新たな課題の発生等にも対応できるよう、行政組織のマネジメント機能の強化を図る事業。

【具体的な事業】

- ・公共施設等総合管理計画事業
- ・西美濃創生広域連携推進協議会による連携事業の実施 等

※ なお、詳細は第2期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

160,000千円（2021年度～2025年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度8月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに養老町町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2021年4月1日から2026年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで